

広島大学附属高等学校

SSH事業について

平成28年3月5日

第3期SSH概念図(平成24~28年度)

「科学的な知の体系」の習得と、国際的視野や高度な倫理観の涵養を通して、「持続可能な社会」を先導する人材の育成を図る教育課程の研究開発

- ・海外語学研修
- ・「科学英語表現」



国際的
視野の
獲得

持続可能な
社会を先導
する人材の
育成

- ・ESD研究
- ・ESD海外研修
- ・ESD汎論

統合的意志決定
能力(IDM)の育成

高度な
倫理観
の涵養

- ・科学と倫理
- ・倫理の探究

- ・フロンティアサイエンス講義
- ・研究室訪問学習
- ・先端研究実習
- ・サイエンスプロジェクトツアー
- ・科学知の探究 I, II
- ・「現象数理解析」
- ・課題研究

科学的な
知の体系
の習得



第3期SSHの特徴

学校全体，教科横断で取り組むSSH

対象学年	科学と倫理	研究室訪問学習	学校設定 科目 「現象数理解析」 「科学英語表現」	先端研究実習 サイエンスプロジェクトツアー ESD海外研修	科学知の探究Ⅰ 科学知の探究Ⅱ(全) 倫理の探究(全) ESD汎論(全)	課題研究	海外語学研修	ESD研究
	科学と倫理	研究室訪問学習	学校設定 科目 「現象数理解析」 「科学英語表現」	先端研究実習 サイエンスプロジェクトツアー ESD海外研修	科学知の探究Ⅰ 科学知の探究Ⅱ(全) 倫理の探究(全) ESD汎論(全)	課題研究	海外語学研修	ESD研究
中1	○				●			
中2	○				●			
中3	○●	○			●			
高Ⅰ	●	●			●	○	○	
高Ⅱ	○	○		SS	●	SS		●
高Ⅲ	○	○			●	SS		

(全)は全教科で
取り組む内容

(●…主対象 ○…希望者 SS…SSコース対象)

SSH年間プログラム

赤字：第2学年SSコース
紫字：第3学年SSコース

学期	FS講義 (主に高1)	先端研究 実習 SPツアー	課題研究	海外研修 他校との連携	「科学と倫理」 「科学英語表現」 「ESD研究」
1	・数学 ・地学		・文化祭ポスター発表	・西条農業高校との交流	
夏季休業中		先端研究 実習 (広島大学)	・SSH生徒研究発表会 全国大会 ・各種学会発表	・韓国海外研修 (+事前学習)	プレゼンテーション 特別講義(韓国の事前学習)
2	・生物 ・物理 ・化学	SPツアー 阪神地区 (2泊3日) ・SPring-8 ・京コンピュータ ・神戸大学等	・論文執筆 ・各種コンテスト応募 ・課題研究中間発表会 ・各種学会発表		・第1回「科学と倫理」特別講義 (高1全+高2全) ・英語合宿 ・ESD研究での実習
3			・「SSHの日」(事業報告, 課題研究発表等)	・韓国訪日研修 ・県内のSSH校との連携	・第2回「科学と倫理」特別講義 (高1全+高2全) ・「SSHの日」

先端研究実習(広島大学にて)・・・数理科学, ナノデバイス, 基礎有機化学, 生物学, 地学を主に夏季休業中に実施

SSHの日(2月18日)



中3への意識づけ(2月29日)

生徒1

1. 質問してみたいこと

- ① 「平均的な文字数とされる2万文字に揃え、全女が2万文字に満たない作品はそのまま利用したの」について正しい結果が得られるのか。
- ② 「傾き」を考察すること以外に方法はあるのか。
- ③ 何で考察の項目をこれなのものに選んだのか。
- ④ どういうソフトを使い、どう調査したのか。
- ⑤ 「なぜ」③は「sutiru-raifu」なのは⑦は「Soul Music Lovers Only」なのか？元はどちらもカワキヲとは？
- ⑥ 全体的にあり変化したかのように見える。
- ⑦ 中央値、最小値、平均値が考察が変化するのでは？
- ⑧

2. 感想・コメント

みんなが興味を持ちやすいことについて研究しているのにおもしろかった。

もっとたくさん資料があれば、と分かるかも。と考えるのとちょっと知りた。

いろいろデータをつくることによつて（傾きによつて考察しているところ）

様子の見方があることについて、分かった。

生徒2

1. 質問してみたいこと

- ① どのように仮説の7つの項目を設定したのか。
仮説で
- ② 平均値と標準偏差の値をなぜ使ったのか。
- ③ 結局、芥川賞と直木賞の違いは何か。
- ④ 外れ値はどのように求めたのか。

生徒3

1. 質問してみたいこと

- ① なぜこの7つの項目に注目して調べたのか？
- ② 審査員による傾向は変わっているのか？
- ③ 標本数を4でいいのか？